2026年度　保護者等向け　児童発達支援評価表

事業所名：児童発達支援　バンブーワァオ早稲田校　　対象人数（保護者）58人 回答者数 40人 回収 69%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	5				法令に遵守したスペースを確保しています。 環境整備に努め、適切な場所を継続してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	5		1	早稲田校のPTの先生が2名から1名なったため、PT個別の枠数が減り、受講しにくくなったのか残念です。	法令で必要とされる□数を配置しておりますが、更に配置の工夫と、引き続き適切な人員配置を行えるよう努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※ 1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	9	1	2		事業所内はフラットな設備を□がけています。 障害特性に応じた環境設備を引き続き実施してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	3		1		法令に遵守したスペースを確保していますが、環境構成や内容の工夫等により、少しでもレッスン環境が良くなるように、努力をしてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2		4	ダウン症に特化した事業所ということで、専門的な支援を期待していますが、先生によってダウン症に関する知識や経験に差があるように感じることがあります。 また、こちらから相談をすれば真摯に対応していただける一方で、事業所側から子どもの様子や今後の発達について、もう一歩踏み込んで提案・助言をいただけると、より心強いと感じます。 早稲田校にて、 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられています。しかし、バンブー阿佐ヶ谷校のクラスにも参加したいが、早稲田校に所属していると阿佐ヶ谷校に所属できないのは、早稲田校になく阿佐ヶ谷校にあるクラスを参加できず、望む支援が受けられてないと感じます。 早稲田校のクラスに問題があるわけではないです。今年度からの児発で決められた早稲田校に所属すると阿佐ヶ谷校に所属できないというシステムによって、必要な支援が受けられてないと感じています。	引き続きスタッフは専門性の向上のための自己研鑽に努め、チームでより良い療育を利用者さまにお届けできるよう引き続き準備してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか　。	36	1	1	2	ダウン症に特化した事業所だからこそ受けられる、専門性の高い支援や、この事業所ならではのプログラムに、もう少し特色や魅力を感じられると嬉しいです。 現在の支援にも良さは感じていますが、他の療育でも受けられる内容との違いや、ダウン症に特化しているからこその強みが、より明確になるとありがたいです。	スタッフ間で□どもの課題、活動の様□、プログラム内容等の共有を密に□い、□どもの状況に応じた活動プログラムの作成をし□援を□っております。今後もスタッフスキルの向上を測り、プログラム内容を検討してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※ 3）が作成されていると思いますか。	35	4		1		保護者の□からの聞き取りを中□にアセスメントを□っております。また、□々の活動記録に基づき支援計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援　」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	4		2		引き続きわかりやすい説明と、保護者の方からの聞き取り、日々のレッスンの支援観察、記録などから個々の発達に応じた内容の支援計画になるよう努めてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	2		2		引き続き個々の発達に応じた支援計画の作成と、事業所内での協議、共有し支援に行かせるよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラム（※ 4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	5	1	2		スタッフ間で□どもの課題、活動の様□、プログラム内容等の共有を密に□い、□どもの状況に応じた活動プログラムの作成をし□援を□っております。今後もスタッフスキルの向上を測り、プログラム内容を検討してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	17	8		現在、交流の機会は設けておりません。今後も必要性や実施の可能性について検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40					契約時に丁寧に説明するよう□がけております。ご質問に対しても丁寧にお応えできるよう努めております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40					引き続きわかりやすく丁寧な支援計画の説明が行われるよう努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40					よりよい家族支援プログラム、ニーズに応じた内容、情報の提供ができるように努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	5	1			日々わかりやすく丁寧な保護者の方とのコミュニケーション、レッスンのフィードバックが行われ、事業所内での共有、支援に活かせるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	6	1			レッスン後はフィードバックの時間を設け、お伝えしたい時や何かご質問がある時には丁寧に説明、助言ができるよう心掛けております。 またLP個別の実施に関して、更なる周知に努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	4			職員によって共感に差があると感じるので、職員全員が共感的支援が出来ているとは言えないと思う。 こちらから相談した際には、いつも丁寧に話を聞いていただき、真摯に対応してくださっていると感じています。 一方で、普段の療育の中では、こちらから相談をしなければ、子どもの発達や家庭での困りごとについて深く話す機会が少ないように感じます。 保護者から相談をするのを待つだけではなく、先生方からも「最近こういうところが気になります」「こういうことをご家庭でも試してみては」など、もう一歩踏み込んで関わっていただけると、より安心して相談できると思います。	日々のコミュニケーションや聞き取りを通じて、保護者様から現在の様子やご希望をお尋ねしています。また、レッスン前後にもお話を伺えるよう時間を設けさせて頂いておりますが、更に助言やアドバイスがしやすい環境の構築を目指し、今後とも利用者様との対話を大事にしていきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	13	1	9		□□会は開催しておりませんが、座談会の開催など保護者同　□をつなぐプログラムや情報交換ができるような環境設定を　□っております。 またイベントレッスンではきょうだい児の参加ができるプログラムの実施を行っております。周知や環境設定について更に協議してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	5		5		保護者様からいただいたご意　□や申し□れに対して、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	4		1		引き続き、個々のニーズに応じて必要な伝達ツールを　□夫し情報提供していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・ SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	1		1	息子やお友達の可愛い写真が載っている通信は、毎日楽しみです！	□に1度バンブー通信を発□し、活動概要を発信しております。またレッスン内容チラシの案内を LINE、HUG掲示板及び教室内に提示しお知らせしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39			1		個□情報の取り扱いには □分注意し、適切な対応に努めています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	1	7		非常災害の発生に備え、社内研修の実施や避難やロールプレイングの実施、PDCAサイクルでその度に評価し、改善点を話し合っています。訓練の様子はバンブー通信などで報告しておりますが、再度周知に努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1		13	訓練実施は行なっていると思うが、実施内容等は分からない 地震などの緊急時に子どもの靴を置いて逃げるように指導されていますが、避難後に困ると思います。改善して欲しいです。	非常災害の発生に備え、定期的に避難やロールプレイングを行い、PDCAサイクルでその度に評価し、改善点を話し合っています。訓練の様子はバンブー通信などで報告しておりますが、今後も利用者様と協力しながら非常時の対応を進めていきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	1	7		安全計画についての法定研修を毎年必ず実施しております。また避難訓練の実施はバンブー通信などで報告しておりますが、再度周知に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1		10		事故、怪我等の発生時には応急処置対応マニュアルに従い対応ができるよう社内研修を実施しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40					安心できる環境整備や体勢の管理、保護者の方や子ども達との関わり、対応が職員それぞれできるよう努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	2		4	小さい頃から母子共にとても楽しい時間になっています。	引き続き、お□様が楽しみに通える事業所となるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	4			能力の高い子に対する期待値が高いのは仕方ないと思うが、それがあからさまに態度に出ている先生がいると感じます。うちの子は違うので寂しい気持ちににになります。 他の事業所では3か月も続かなかったのですが、バンブーには気づけばもう1年半以上通っています。 我が家にとって、今では「療育＝バンブー」です。 そして、息子はバンブーが大大大好きです！ 通い始めた頃は落ち着きがなく、まさにスズメバチのように動き回っていた息子ですが、先生方が根気強く、丁寧に向き合い続けてくださったおかげで、少しずつ落ち着いて過ごせるようになりました。自宅でのやり取りもずいぶん楽になり、日々の生活の中でも息子の成長を感じています。 バンブーは私にとっても大切な場所です。何か困ったことがあるとまずバンブーの先生に相談しています。母子ともに、まさに「駆け込み寺」のような存在です。 さまざまな分野で高い専門性を持つ先生方がいらっしゃいますが、皆さんに共通しているのは、「親身に、粘り強く、丁寧に」子どもと向き合ってくださることです。 障害のある子どもを育てる中で、親として辛いと感じることの一つが、時折周囲から感じる「障害があるから仕方がない」という空気です。 でも、バンブーの先生方は、そこで終わりません。 「この子にはどうしたらできるようになるだろう」 「どうしたらもっと成長できるだろう」 そうやって、一人の子どもとして息子にきちんと向き合い、その子に合った方法を考え続けてくださいます。 できないことがあっても諦めず、息子の可能性を信じて一緒に考えてくださることが、親として何より有り難く本当に感謝しています。 ダウン症に特化した情報やノウハウが活かせるので有意義な居場所になっています。	お□様、保護者の皆様にご満 □いただけるようさらに創意 □夫し療育内容や対応の改善、充実に努めます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。